

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1～3 年	
教科等名	国語・数学			学習グループ	④a	
	(2) 人との関わりの中で伝え合い、表現する力を養う。 (3) 日常生活に関するものや数との関係に関心をもって関わる力を身に付ける。					
担当教員	小川健、白崎健太郎、八田早苗			年間授業時数	175 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 個々の実態に合わせて課題を設定する。 (2) 具体的かつ操作性のある教材を準備する。 (3) 身近で興味・関心をもてる題材を準備する。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5 6 7 9	漢字 数量関係 読書活動	15 12	◆ 漢字（難易度は個人によって変更）を理解する。 ◆ 数量を理解する。 ◇ 地域の地名（漢字）学習 ◇ 数量（大小、多少、長短、高低など）	○	○	
10 11 12	文の構成 反対の言葉 時計	12 12	◆ 正しい文章をつくらることができる。 ◇ 適切な助詞や述語を使った文づくり ◆ 身近な言葉の反対語を知る。 ◇ 反対の言葉 ◆ 時計の読み取りができる。 ◇ アナログ時計の読み取り ◇ 1日の行動と時刻	○	○	
1 2 3	買い物学習	18	◆ 買い物学習を通して、言葉や物、お金のやりとりを行う。 ◇ コミュニケーション学習 ◇ お金の計算		○	○
年間	個別課題	105	◆ 各自の課題に沿って取り組む。 ◇ プリント学習（文字、漢字の書き取り、なぞり、文章づくり、読み聞かせ、音読、数の概念、数量、計算、時計、お金、ほか） タブレットを使った文字や数の学習			○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第 1~3 年	
教科等名	音楽			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 様々な音楽活動を通して自己表出力を育て、豊かな情操を養う。 (2) 仲間と共に活動することで協調性やコミュニケーション能力を育む。 (3) 様々な音楽活動に親しみながら社会生活に向けての余暇活動へつなげていく。					
担当教員	池上舞 小川健 白崎健太郎 八田早苗			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 映像や実演を通じて、楽器や曲のイメージをもてるようにする。 (2) 合奏では、リズム打ちなど活動内容を理解しやすく、障害の状態に配慮した対応ができる題材を取り上げて活動する。 (3) 季節に応じた題材を取り上げ、音楽による表現を感じられるようにする。					
月	単元(題材)名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	【歌唱・鑑賞】 始まりの歌 季節、行事に関連した曲	—	◆ 授業の開始時に毎時歌唱し、授業への気持ちを切り替える。 ◇ 発声を促す部分を取り入れた曲に合わせてタイミングよく発声する。 ◇ 季節の変化や行事について意識しながら演奏、鑑賞を行う。			○
4 5	【器楽】 打楽器による合奏を楽しもう。	6	◆ 楽曲や周囲とのタイミングを合わせて楽器を鳴らす。 ◇ 自分で演奏したい楽器を選ぶ。 ◇ 合奏することを意識し、タイミングを合わせて演奏する。 ◇ 適切な音量で楽器を演奏する。	○		○ ○
6 7	【表現】曲の雰囲気イメージしながら身体を動かす。(ダンスの活動)	6	◆ 曲の雰囲気イメージしながら、曲想・テンポに合わせて身体を動かす。(ダンスの活動) ◇ 振り付けの動作を覚える。 ◇ 曲想・テンポに合わせて身体を動かす。 ◇ 友達と動作を合わせてダンスをすることの楽しさを感じる。	○		○
9 10	【器楽・鑑賞】芸術鑑賞会へ向けて	7	◆ 芸術鑑賞会に向けて、演奏楽器や演奏曲について事前学習する。 ◇ 演奏曲を鑑賞、体験する。 ◇ それぞれの楽器の歴史や文化を知る。	○		○
11 12	【器楽・表現】日本の伝統楽器に親しもう。	8	◆ 日本の伝統楽器の音色に親しみ、演奏を体験する。 ◇ 日本の伝統的な音楽を知る。 ◇ 楽器の演奏をする。 ◇ 映像や実演により演奏を鑑賞する。		○	○ ○
1	【器楽・身体表現】日本の伝統芸能に親しもう。	2	◆ 日本の伝統的な芸能に親しみ、表現の特徴などを知る。 ◇ 日本の多様な芸能とその特徴を知る。 ◇ 伝統的な芸能を体験する。 ◇ 舞台の映像などを鑑賞する。	○	○	○ ○
2 3	【歌唱】季節の歌、卒業式の歌を歌おう「旅立ちの日に」	6	◆ 卒業式へ向けて気持ちを込めて歌う。 ◇ 歌詞の意味や情景を考える。 ◇ 強弱をつけて歌う。	○	○	

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1～3 年	
教科等名	美術			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 素材やテーマからイメージを膨らませて自分らしい作品をつくる。 (2) 鑑賞、制作を通して様々な表現に触れ、身近なものに興味・関心を向ける。 (3) 作品を作ること見ることの楽しみを味わい、美術に親しむ心を育む。					
担当教員	八田早苗 小川健 白崎健太郎			年間授業時数	70 時間	
使用教科書	「なし」					
主な指導の工夫	(1) 参考作品や制作手順をわかりやすく示す。 (2) 手や道具を使用して素材が変化していく経験を重ねられる課題を準備する。 (3) 繰り返すことで定着や発想の広がりを図る。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	モダンアート：にじみ 絵、吹き流し、ストリン グ（引き絵）。 版画：モノ版画	12	◆ 様々な技法で混色を行い、色の変化や形の変化を感じとる。 ◇ 色の3原色を水や風の動きで混色する。 ◇ 花の美しさを版画で表現する。デッサンから始める。			
6 7	版画：モノ版画 工芸：額縁の制作	16	◆ デッサンから版画の版制作への展開のできるスキルを学ぶ。 ◇ 花をアクリルで表現し版を制作し、版画を摺る。 ◇ 触れて変化する素材の面白さを体験する。			
9 10	絵画：砂絵 陶芸：音の鳴るオブジェ	16	◆ 隣接する色との調和や全体の色調を意識しながら構図を考え出す力をつける。 ◇ 色砂を用いた描画 ◆ 基本の土鈴にオリジナルのデザインを加えた作品を作り出す。 ◇ たたらや紐づくりなどの陶芸の技法を学び、作品作りに活かして制作する。			
11 12	絵画：生き物を描く（バ チック等の技法を用いた 描画）	10	◆ 選択した生物を表現する方法を模索し、効果的な技法を選んで描画する。 ◇ 本やネットなどから描きたい生き物を選択する。			

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
			◇ 水彩や油絵具、アクリル絵、クレヨンなどを用いてバチックの技法を用いて生き物を表現する。			○
1	墨象：墨絵を描く	16	◆ 季節の行事を感じながら制作する。			
2	デジタルアート：写真を		◇ 墨の香り、和紙や色紙の色彩、紙粘土の形に注目して制作する。		○	
3	コラージュする		◆ アプリ操作を学習し、iPadでオリジナルのデザインを生み出す。			
			◇ iPadを使って、写真の素材をコラージュして、Tシャツやエコバッグのデザインをする。			○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画（案）

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1～3 年	
教科等名	保健体育			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 身体を動かす楽しさ、心地よさを実感し、積極的に身体を動かす。 (2) ルールを理解し、自身の行動を調整しながら活動する。 (3) 友達を意識し、協力しながら活動する。					
担当教員	鎌形翼 上原千穂			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) オリンピック・パラリンピックなどに関連付けながら日常的にスポーツの話をし、スポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 目的に向けた主体的な過程を褒めることで、身体活動の楽しさを実感させ、生涯スポーツへの意識を高める。 (3) 個々の障がい状況が異なるため、実態に応じた課題やルールを設定する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	体づくり運動	3	◆ 身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。 ◇ ラジオ体操や選択した曲で競技に ◇ 3軸体操や柔軟ストレッチ運動。	○		○
5 6	陸上競技 体育祭種目練習	6	◆ 自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。 ◇ 自己記録に挑戦する。 ◇ ルールを理解し、作戦を考える。 ◇ 周囲と協力して競技を行う。	○	○	○
7	水泳	6	◆ 重力下では難しい、自発的な動きを引き出す。 ◇ 水慣れ ◇ 泳法指導 ◇ リラクゼーション	○		○
9 10	球技 「ポッチャ」	5	◆ 自分が狙った場所にボールを打つことができる。 ◇ 投球の種類と練習方法について ◇ 作戦を立てる。 ◇ 投球練習、レクリエーション、両ルールを体験する。	○	○	○
11 12	球技 「ハンドサッカー」	5	◆ ルールを理解し、周囲と協同してプレーする。 ◇ フィールドプレイヤー・スペシャルシューターの動きに特化する。	○		
1	武道 「柔道」	5	◆ 伝統文化として武道の基本を理解す ◇ 柔道の心構えや特性について ◇ 寝技体験 ◇ 道着の着衣、つかみ、投げ	○	○	○
2 3	球技 「卓球」 「テニス」	5	◆ ボールの動きに合わせた体幹や上肢の使い方を工夫する。 ◇ 打撃練習 ◇ ゴロ卓球、ゴロテニス ◇ 審判体験	○		○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1～3年	
教科等名	外国語			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 外国語や異文化への関心、理解を深め、日本語と外国語との違いを知る。 (2) 外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 (3) 身近で簡単な単語の語い力を身に付ける。					
担当教員	小川健、八田早苗、白崎健太郎			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 生徒たちが英語を口に出しやすい明るい雰囲気づくりを大切にする。 (2) 音声教材や視覚的教材を用いて興味・関心を促す。 (3) 日常生活の中でよく見聞きする簡単な語句を多く取り入れる。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
年間	ALTとの英語学習	2	◆ コミュニケーションを積極的に取る。 ◆ 異文化理解を深める。 ◇ 簡単な会話表現 ◇ アメリカの文化を紹介する。			○
4 5 6 7	日常生活に身近な単語や表現を知ろう①	12	◆ 日常生活に関わる単語を知る。 ◆ 英語のリズムや英語の歌に親しむ。 ◇ 数字、天気、体調などの単語・表現学習。 ◇ 英語の歌に合わせてリズムをとったり発声をする。	○		○
9 10 11 12	日常生活に身近な単語や表現を知ろう②	12	◆ 日常生活に関わる単語を知る。 ◆ 英語の簡単な定型文を使用する。 ◇ 食べ物、季節などの単語・表現学習。 ◇ 定型文を使用したロールプレイ。	○	○	
1 2 3	日常生活に身近な単語や文化の違いを知ろう	9	◆ 日常生活に関わる単語を知る。 ◆ 日本と外国の文化の違いを知る。 ◇ 飲み物、買い物などの単語・表現学習。 ◇ アメリカの年末年始の過ごし方。	○		○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	キャリア基礎Ⅱ			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 見通しをもって活動する。 (2) 自分の仕事を責任をもって行う。 (3) 自己効力感を味わうことができるようにする。					
担当教員	八田早苗			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 主体性を大切にし、支援方法に配慮して見守る。 (2) 健康観察を行い、その日の体調、身体の状態に合わせた取り組みを行い、無理をしないようにする。 (3) 友達が欠席した際には、全員で協力して係に取り組めるように促す。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	個別の学習 係活動 余暇活動	105	◆ 自分の役割を果たすことができる。 ◇ 給食のメニュー書き。 ◇ 消毒剤、ペーパータオルの残量確認。 ◇ 給食かわら板を読み、報告する。 ◇ クラスの係活動実施状況を確認、報告する。 ◇ プリントを取りに行き、報告する。 ◇ 日めくりカレンダーに季節感のあるミニイラストを描画する。 ◇ 個別課題学習（プリント学習） ◇ 身体の個別の取り組み（ストレッチなど）。			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 2 年	
教科等名	キャリア基礎Ⅱ			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 見通しをもって活動する。 (2) 自分の仕事を責任をもって行う。 (3) 自己効力感を味わうことができるようにする。					
担当教員	白崎健太郎			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 主体性を大切にし、支援方法に配慮して見守る。 (2) 健康観察を行い、その日の体調、身体の状態に合わせた取り組みを行い、無理をしないようにする。 (3) 友達が欠席した際には、全員で協力して係に取り組めるように促す。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	個別の学習	105	◆ 自分の役割を果たすことができる。			
	係活動		◇ 給食のメニュー書き・号令		○	
	余暇活動		◇ 教室の電気をつける・消す			
			◇ 音楽再生			○
			◇ 次の日の学習予定	○		
			◇ 給食の名札拭き			○
			◇ プリント配布		○	
◇ 個別課題学習(視線入力やスイッチ操作)		○				
◇ 身体の個別の取り組み（ストレッチなど）			○			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	キャリア基礎Ⅱ			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 見通しをもって活動する。 (2) 自分の仕事を責任をもって行う。 (3) 自己効力感を味わうことができるようにする。					
担当教員	小川 健			年間授業時数	105 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 主体性を大切に、支援方法に配慮して見守る。 (2) 健康観察を行い、その日の体調、身体の状態に合わせた取り組みを行い、無理をしないようにする。 (3) 友達が欠席した際には、全員で協力して係に取り組めるように促す。					
月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通 年	個別の学習	105	◆ 自分の役割を果たすことができる。			
	係活動		◇ アルコールの補充依頼			○
	余暇活動		◇ 英単語の学習	○		
			◇ 作業的な活動		○	
			◇ 給食後の片付け（食札拭きなど）			○
	◇ プリント配布			○		

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	総合的な探求の時間			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 (2) 学校行事に積極的に取り組む態度を身につける。 (3) 伝統的・文化的な体験を通して、日常生活を豊かにする。					
担当教員	八田早苗			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 資料を提示することで、生徒が自ら考え、主体的に活動できるようにする。 (2) 自分の問題として考えられるようにする。☒ (3) 伝統的文化を学ぶことで、余暇活動の充実へとつなげる。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	仲間を知る 自分を知る	4	◆ 授業の流れや自分の課題を考え、目標 ◆ 新しい友達や教員を知り、コミュニケーションの充実を図る。 ◇ 1年間の流れの確認 ◇ 新しい教員や友達の名前やクラスを確認 ◇ 個人目標の設定。自己紹介スライドの			
5 6	年間予定表を作る 体育祭に向けて	4	◆ 掲示する予定を調べ、月ごとに整理し ◆ 期待感を高め、体育祭に向けて主体的に取り組む。 ◇ いろいろな行事の内容紹介 ◇ 紹介ポスターを作成 ◇ ポスター発表			
7 9 10	宿泊行事の事前事後学習	12	◆ 生活や活動について見通しをもち、自主的に学習する。 ◇ グループ班の目標、行程、計画設定 ◇ 自己評価、相互評価、振り返り学習			
11 12	墨東祭の事前、事後指導	12	◆ 役割をもって、仲間と協力することが ◇ 墨東祭の練習 ◇ 自己評価、相互評価、振り返り学習			
2 3	困難・ストレスへの対応 方法 心と体の健康管理	3	◆ 自分の気持ちを知り、相手に伝える方法を学ぶ。 ◇ SOS の出し方 ◇ スクールカウンセラー、養護教諭の役割 ◇ 健康管理について。がんへの理解。			

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 2 年	
教科等名	総合的な探求の時間			学習グループ	④a	
ねらい	（１）自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 （２）学校行事に積極的に取り組む態度を身につける。 （３）伝統的・文化的な体験を通して、日常生活を豊かにする。					
担当教員	白崎健太郎			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	（１）資料を提示することで生徒が自ら考え、主体的に活動できるようにする。 （２）自分の問題として考えられるようにする。☒ （３）伝統的文化を学ぶことで、余暇活動の充実へとつなげる。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	目標設定	4	◆ 授業の流れや自分の課題を考え、目標を立てる。 ◇ 1年間の流れの確認 ◇ 個人目標の設定	○	○	
5 6	年間行事予定表を作る	4	◆ 期待感を高め、体育祭に向けて主体的に取り組む。 ◇ いろいろな行事の内容紹介 ◇ 紹介ポスターを作成 ◇ ポスター発表		○ ○	○
7 9 10	修学旅行の事前、事後学習	12	◆ 生活や活動について見通しをもち、自主的に学習する。 ◇ グループ班の目標、行程、計画設定 ◇ 自己評価、相互評価、振り返り学習		○	○
11 12 1	墨東祭の事前、事後指導	12	◆ 役割をもって、仲間と協力することが ◇ 墨東祭の練習 ◇ 自己評価、相互評価、振り返り学習		○	○
2 3	困難・ストレスへの対応方法	3	◆ 自分の気持ちを知り、相手に伝える方法を学ぶ。 ◇ SOSの出し方 ◇ スクールカウンセラー、養護教諭の役割理解	○ ○		

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 3 年	
教科等名	総合的な探求の時間			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。 (2) 学校行事に積極的に取り組む態度を身につける。 (3) 伝統的・文化的な体験を通して、日常生活を豊かにする。					
担当教員	小川健			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 事前説明の時間を設定して、見通しをもって活動できるようにする。 (2) 自分の気持ちを相手へ伝える時間を設定する。 (3) 伝統的文化を学ぶことで、余暇活動の充実へとつなげる。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	前期目標設定	1	◆ 授業の流れや自分の課題を考え、目標を立てる。 ◇ 個人目標の設定		○	
5 6	進路実習に向けて	10	◆ 進路実習に向けて、行き先や実習内容などについて意識を高める。 ◇ 面接の練習、実習日誌の作成 ◇ 仕事・活動内容の確認	○		○
7	交流学习に向けて	3	◆ 交流学习を通して、新しい世界を知る。 ◇ 交流先の調べ学習、係分担 ◇ 振り返り学習		○	○
9 10 11	墨東祭の事前・事後学習	10	◆ 墨東祭への意識を高め、協力して取り組む。 ◇ 内容についての話し合い、準備計画 ◇ 台詞、演技練習、ほか ◇ 振り返り、自己評価、相互評価		○	○
12 1 2 3	卒業に向けて	11	◆ 卒業後の生活に意識を向ける。 ◆ 卒業に向けて思い出を作る。 ◇ 卒業制作 ◇ 卒業校外学習の事前・事後学習 ◇ 身だしなみの学習 ◇ 学校生活のまとめ	○	○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1 年	
教科等名	特別活動			学習グループ		
ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活に活かす。					
担当教員	石渡ひかり、杉浦春久、高橋奈穂美 張替良太、八田早苗、鎌形翼、小畑圭輝			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 全員が意欲的に参加できるように、道具や活動のルールを工夫する (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	高等部の生活について	3	◆ 高等部の一年間の生活を知る。 ◇ 自己紹介、一年間の予定確認、学年目標決め、係活動決めなど。		○	
5	学年の仲間との親睦を図る	2	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習			○
	新入生歓迎会に向けて	1	◆ 歓迎会の実施に向けて、リーダーシップをとる。 ◇ 役割分担して準備する。必要なことを教員に依頼する。			○
6	体育祭に向けて	4	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習		○	
7 9 10	移動教室事前学習	10	◆ 行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。 ◇ 係ごとに事前学習を行う。 ◇ 内容に関する話し合い、準備、練習など		○	○
11	墨東祭に向けて	3	◆ 役割をもって、仲間と協力する。 ◇ 発表内容について話し合い・分担 ◇ 全体練習		○	○

月	単元（題材）名	指導 時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
12	レクリエーション	3	◆ 期待感を高めて主体的に準備を進める。 事前・事後学習 しおり作り、係分 担など ◇		○	
1	伝統文化に触れよう	3	◆ 日本独自の伝統技術を体験する ◇ 調べ学習	○		
2	主権者教育	3	◆ 生徒会選挙を通して選挙を知る。 ◇ 模擬選挙を行う。		○	
3	1年間のまとめ	3	◆ 一年間の学校生活を振り返る。 ◇ スライドなどを見て一年間を振り返る。			○

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 2 年	
教科等名	特別活動（ホームルーム）			学習グループ	②	
ねらい	(1) 学年で行う行事等に見通しをもつ。 (2) 友達を知り、自分を伝えることで人間関係の充実を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
担当教員	郭雅文、高橋尚子、白崎健太郎			年間授業時数	35 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真や資料などを使って分かりやすく提示する。 (2) 全員が意欲的に参加できるよう配慮する (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4	学年活動の予定を知る	2	◆ 学校生活に見通しをもつ。			
5	年間行事予定表を作る	3	◆ 期待感を高め、友達を応援できるようになる。 ◇ 行事予定表を作る ◇ 時間割や年間の行事を知る。	○		○
6	仲間楽しく活動しよう	5	◆ 日常生活の余暇活動の充実を図る。 ◇ 学年共通でできる様々なレクリエーションを行い、興味・関心を広げる。			○
7 9	宿泊行事に向けて	5	◆ 生活や活動について見通しをもつ。 ◇ 調べ学習 ◇ 当日の行動予定を立てる。	○	○	
9 10 11	墨東祭に向けて	8	◆ 役割をもって、仲間と協力することができる。 ◇ 発表内容についての話し合い ◇ 役割分担		○	○
12 1	伝統と文化に触れよう	6	◆ 日本独自の伝統技術を体験することで、日本の伝統に興味をもつ。 ◇ 調べ学習 ◇ しおりの印刷、製本する。 ◇ 当日の行動予定を立てる。	○	○	○
2 3	高3に向けてと進路について	6	◆ 卒業後の進路について見通しをもつ。 ◇ 卒業・社会人生活への意識付けを行う卒業生を送る会の企画。		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校年間指導計画

学部	高等部		学年	3年		
教科等名	特別活動（ホームルーム）		グループ	4a	学習グループ	
ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の中での自分の役割が分かり主体的に行動する。 (3) 学校生活での様々な体験を卒業後の生活につなげる。					
担当教員	小川健 池上舞 内田麻衣 上原千穂 志賀拓也		年間授業時数	35 時間		
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) 写真や資料等視覚的支援を取り入れ、活動への理解を促す。 (2) 具体的な例やヒントを提示するなどして、話し合いなどの活動を補助する。 (3) 全員が楽しんで参加できるように、道具や活動のルールを工夫する。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
4 5	卒業後の進路	5	◆ 卒業後の生活を具体的にイメージして準備を行う。 ◇ 進路実習の事前準備や学校調べなど			
6	体育祭に向けて	3	◆ 体育祭に向けて期待を高める。 ◇ 体育祭の競技や応援練習			○
	新入生歓迎会に向けて	2	◆ 歓迎会の実施に向けて、リーダーシップをとる。 役割分担して準備する。必要なことを教員に依頼する。 ◇			○
7	交流学习に向けて	3	◆ 外部との交流を通して新しい世界や社会のマナールールを学ぶ。 ◇ 事前・事後学習、調べ学習、役割分担など			○
9 10 11	墨東祭に向けて	10	◆ 行事への期待感を高め、協力して一つのものを作り上げる。 ◇ 事前・事後学習 ◇ 内容に関する話し合い、準備、練習など	○		○
12	卒業制作	3	◆ 卒業の記念になるものを作る。 ◇ 制作内容についての話し合い ◇ 制作活動、包装など		○	○
1	卒業遠足に向けて	3	◆ 期待感を高めて主体的に準備を進める。 ◇ 事前・事後学習 しおり作り、係分担など		○	
2 3	卒業に向けて	6	◆ 学校生活を振り返る。 ◇ 振り返りやまとめ ◇ 卒業式練習など		○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体（本校）	学部	高等部	学年	第 1～3 年	
教科等名	自立活動			学習グループ	④a	
ねらい	(1) 心身ともにリラックスする。 (2) バイタルを自分で計測できるように練習し、自分の身体の健康状態を知り、健康を管理できるようになる。 (3) 運動・動作の維持と改善を図る。・関節の拘縮や変形を予防する。・筋力の維持・強化を図る。					
担当教員	小川健 八田早苗、白崎健太郎			年間授業時数	155 時間	
使用教科書	なし					
主な指導の工夫	(1) その日の健康状態、心理状態を把握し、メニュー決定のアドバイスをする。 (2) 自立活動部教員との連携を図り、外部専門家のアドバイスを取り入れる。 (3) 自分の身体への意識を高め、自ら目的をもって活動できるような言葉掛けを行う。					
月	単元（題材）名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点		
				知識	思考	態度
通年	身体の取り組みを中心とした自立活動6区分 <健康の保持> <心理的安定> <身体の動き> <人間関係の形成> <環境の把握> <コミュニケーション>	155	◆ 基礎的な体力をつけたり、体幹の筋力をつける。 ◇ 歩行練習 ・車いすの手漕ぎ ・手つなぎ歩行 ・スロープ歩行 ・階段の昇降 ・ウォーカー歩行 など ◇ 筋肉トレーニング ・背筋 ・膝立ち ・腕支持 ・よつばい ・立位 など ◆ 様々な身体の動かし方を体験し、力を抜いてリラックス方法を学ぶ。 ◇ ストレッチ ・上肢 ・下肢 ◆ 自ら気持ちや感じたことを表情や言葉で伝えることができる。場面に合ったやりとりができる。 ◇ コミュニケーション ・ひらがなボード ・サイン ・絵カード ・視線入力 ・手話 など ◆ 自ら身体の向きや向かう方向を意識しながら、自分が行きたい場所まで安全に移動できる。 ◇ 歩行や車いすの操作練習 ◆ 手指の操作性の向上させ、正確にものを操作する力を身に付ける。 ◇ 操作性の教材 ・ビーズ ・スイッチ ・ひも通し ・ブロック	○	○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第2年												
教科等名	日常生活の指導			学習グループ	④a												
ねらい	(1) 自分でできることを増やし、自己肯定感や自尊感情を育む。 (2) 必要に応じて、自分なりに工夫する態度や気持ち、習慣を養う。 (3) 日常生活上を営む上で必要な身辺処理の力を高めていく。																
担当教員	白崎健太郎			年間授業時数	35 時間												
使用教科書	なし																
主な指導の工夫	(1) 構造化して生徒が理解しやすくする。 (2) 指導者は必要な事項を習得させた後は、できる限り見守りに徹し、本人から申し出があったときに手伝うよう留意する。 (3) 教職員に言葉で依頼ができるよう助言をしながら指導する。																
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ										
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	職業 家庭	外		
通年	自分のことは自分で行う 自分の役割を果たす 自分でできることを増やす	35	◆身の回りの準備が自分でできる。 ◇荷物整理。 ◆自分の健康状態を把握する。 ◇体温計による測定。 ◆給食が安全に、適切なマナーで食べることができる。 ◇食事準備、食事マナー、片付け、歯磨き。 ◆役割をもち、責任をもって最後まで取り組むことができる。 ◇係活動。 ◆報告・連絡・相談ができるようになる。 ◇相手に伝える場面を学ぶ。 ◇必要に応じて依頼をする。														

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第3年											
教科等名	日常生活の指導			学習グループ	④a											
ねらい	(1) 自分でできることを増やし、自己肯定感や自尊感情を育む。 (2) 必要に応じて、自分なりに工夫する態度や気持ち、習慣を養う。 (3) 日常生活上を営む上で必要な身辺処理の力を高めていく。															
担当教員	小川健			年間授業時数	35 時間											
使用教科書	なし															
主な指導の工夫	(1) 構造化して生徒が理解しやすくする。 (2) 指導者は必要な事項を習得させた後は、できる限り見守りに徹し、本人から申し出があったときに手伝うよう留意する。 (3) 教職員に言葉で依頼ができるよう助言をしながら指導する。															
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ									
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	職業 家庭	外	
通年	身支度 整理整頓 体調把握 給食 片付け 排せつ 係活動	35	◆身の回りのことが自分でできる。 ◇身支度・整理整頓 ◆自分の体調を知る。 ◇体調把握 給食を安全に、適切なマナーで食べることができる。 ◆給食と一緒に食べられる人を増や ◇食事マナー、片付け、摂食 ◆トイレ介助の受け入れを広げる。 ◇排せつ依頼 役割をもち、責任をもって最後まで取り組むことができる。 ◇係活動													

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1~3年											
教科等名	生活単元学習			学習グループ	④a											
ねらい	(1) 時間割表や行事予定表などの掲示物の作成を通して、学校生活に見通しをもつ。 (2) 作物の栽培や制作活動を通して、ものづくりへの関心や意欲を高める。 (3) 行事学習や季節の単元学習を通して、生活経験の拡充を図る。															
担当教員	白崎健太郎、小川健、八田早苗			年間授業時数	70 時間											
使用教科書	なし															
主な指導の工夫	(1) ICT機器などを活用し、視覚的に捉えられるよう提示する。 (2) 教員が活動の手本を見せるなど、モデリングしやすいように提示する。 (3) 個々のねらいを明確にし、指導の手立てを工夫する。															
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ									
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	職業・家庭	外	
4	教室づくり	6	◆ 掲示物の作成し、学校生活に見通しをもつ。 ◇ 時間割づくり。 ◇ 目標決め。		○	○										
5 6 7	野菜や花の栽培	20	◆ 栽培活動への関心を高める。 ◆ 体育祭競技への意識を高める。 ◇ 香草の種類について学ぶ。 ◇ 土づくり、苗植え、観察、育成。 ◇ 収穫。	○	○	○	○	○							◎	○
9 10 11	ものづくり	16	◆ 工具、道具を利用して、ものづくりへの関心を高める。 ◇ 材料加工、接合、ほか。 ◇ 工具、道具の利用。		○	○		○							◎	○
12	墨東祭	6	◆ 墨東祭へに意識を高める。 ◇ 事前学習、作品展示準備。		○							○				
1 2 3	香草や花の加工 ポプリ、石鹸、バスボム 制作。	16	◆ 栽培活動への意識を高める。 ◇ 生活を豊かにする香りについて学ぶ。 ◇ 育成、観察、収穫。 ◇ 加工。	○	○	○				○					○	◎
年間	ALTとの英語学習 季節の料理、世界の料理	6	◆ コミュニケーションを積極的に取る。 ◆ 異文化理解を深める。 ◇ 簡単な会話表現、英単語の学習。 ◇ 様々な地域の料理を知る。	○	○			○			○				○	○

※ 評価の観点：「知識」＝知識・技能、「思考」＝思考・判断・表現、「態度」＝主体的に学習に取り組む態度

令和5年度東京都立墨東特別支援学校 年間指導計画

部門	肢体(本校)	学部	高等部	学年	第1~3年											
教科等名	作業学習			学習グループ	④a											
ねらい	(1) 担当した仕事に対して、責任をもって取り組む力を育てる。 (2) 一定時間集中して仕事を行い、継続する力を付ける。 (3) 報告、連絡がしっかりと行うことができる。															
担当教員	小川健、白崎健太郎、八田早苗			年間授業時数	140 時間											
使用教科書	なし															
主な指導の工夫	(1) 一生懸命仕事をすることで、人に喜ばれたり、褒められたりすることを伝えていく。 (2) 仕事時間や休憩時間を提示して、見通しがもてるようにする。 (3) 報告、連絡する手本を示したり、回数を数えたりしながら定着できるようにする。															
月	単元(題材)名	指導時数	◆ねらい、◇主な学習内容	評価の観点			教科の位置づけ									
				知識	思考	態度	国	社	数	理	音	美	体	職業 家庭	外	
4 5 6 7 9	クリーンサービス活動	70	◆ 仕事を覚える。 ◆ 作業工程を理解する。 ◆ 仕事が終わったときには報告や連絡ができる。 ◇ クリーニングの基本的な心構え ◇ 各作業工程の理解 ◇ 用具の名称や使い方の理解 ◇ 報告、連絡													
10 11 12 1 2 3	ものづくり (クリアファイル作りなど)	70	◆ 仕事を覚える。 ◆ 作業工程を理解する。 ◆ 受注どおりに仕事を行う。 ◆ 仕事が終わったときには報告や連絡ができる。 ◇ ものづくりの基本心構え ◇ 各作業工程、制作方法の理解 ◇ 用具の名称や使い方の理解 ◇ 受注、納品 ◇ 報告、連絡													
通年	ビジネスマナー	-	◆ ビジネスマナーについて意識できるようにする。 ◇ 挨拶、時間、身だしなみ、他													

※ 評価の観点：「知識」=知識・技能、「思考」=思考・判断・表現、「態度」=主体的に学習に取り組む態度